

令和5年度宮城県生活交通確保維持改善計画

令和5年6月30日

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
今回、計画を申請する幹線バス系統（以下「対象系統」という。）は、地域の交通結節点である鉄道駅を発着し、沿線には大学や複数の高校等の教育機関、地域の中核的な医療機関、大型商業施設等があることから、鉄道を利用する遠距離通学の学生や、通院する高齢者等の足として定着している。このため、社会生活を送るためには交通手段の維持・確保が極めて重要である。 しかしながら、県内では、本格的な人口減少の進行や少子高齢化等により、利用者数の減少が続いている中で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響の長期化がさらに拍車をかけており、事業者が単独で路線を維持することは極めて困難な状況にある。加えて、沿線市町においては、地域交通の支線となる住民バス等の運行とその維持に向けて多額の支出を要していることから、対象系統を維持するための補助金の拠出や住民バス等への転換は困難である。 また、山形県との県際・地域間の広域移動については、特に山形県にとって生活交通としての維持が不可欠であるにも関わらず、インフラの老朽化や担い手の不足などにより厳しい経営実態となっていることから、該当路線を山形県として支える必要がある状況となっている。 したがって、対象系統について、国庫補助金を活用することにより、結節する鉄道との連携等で利便性の向上を図りながら、維持確保することを目的として、事業を行うものである。
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
・ 県内の地域間幹線系統について、国庫補助金を活用することにより、継続的な路線の維持確保と、広域的な交通ネットワークの形成を図る。 ・ 東日本大震災の影響等により、対象となる系統では利用者の減少が続いているが、継続的な路線の維持確保を図るため、年間輸送人員を新型コロナウイルス感染症による影響を受ける以前の水準まで回復させることを目標とする。
(2) 事業の効果
地域間幹線系統を維持することにより、地域の学生や高齢者といった、マイカーを利用できない住民の生活にとって必要不可欠な交通手段が確保される。 また、結節する鉄道との連携等により、地域内外の交流人口の増加や、地域活性化が期待される。
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
・ 詳細は、別紙1のとおり ・ 高校新入生に対するバス通学の周知（事業者、沿線市町、高校） ・ JR、住民バス等とのダイヤ調整及び広報（事業者、JR、沿線市町） ・ イベント開催時のバス利用の呼びかけ（事業者、沿線市町） ・ 企画乗車券による観光利用の誘発（事業者、沿線市町、関係団体） ・ 運転免許自主返納者に対する割引検討（事業者、沿線市町）
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
① 表1のとおり（※山形県事業に係るものは表1（山形県）のとおり） ② 本県における運行予定者の選定 国庫補助路線の申請実績のある者（株式会社ミヤコーバス）及び公益社団法人宮城県バス協会に対して照会するとともに、本県ホームページにおいて周知したところ、株式会社ミヤコーバスから申し出があり、内容を精査した結果、運行事業者として適切であ

ると認めるものである。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
表2のとおり (※山形県事業に係るものは表2(山形県)のとおりであり、表中の都道府県及び市区町村の負担額については山形県において負担するものとする。) (変更箇所) ・第12号鮎川線について、風越峠新道切換えに伴う系統距離の変更を反映し、計画実車走行キロを変更するもの。(令和5年4月1日変更) ・第2号川崎線及び第3号川崎線について、株式会社ミヤコーバス村田営業所移転に伴う系統距離の変更を反映し、計画実車走行キロを変更するもの。(令和5年4月24日変更) ・第1号白石遠刈田線について、「松ヶ丘団地」停留所廃止に伴う系統距離の変更を反映し、系統キロ程及び計画実車走行キロを変更するもの。(令和5年7月16日変更)
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
株式会社ミヤコーバス
7. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要
川崎線(申請番号3) 沿線には病院や学校があり、住民の生活に必要不可欠な路線である。特に、県南部の医療サービスの中心となっている、県南中核病院を通る当路線の必要性は高い。
8. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧
表4のとおり
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
各取組内容は、別紙2のとおり。
10. 外客来訪促進計画との整合性
該当なし
11. 車両の取得に係る目的・必要性
対象系統の維持確保のため、老朽化した車両(平均車齢約15年)の更新を支援する必要がある。あわせて、現在ノンステップバスの導入率が総車両比で約3割と全国平均を下回っていることから、誰もが利用しやすい環境を整えるため、車両の低床化を進めるものである。
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果
(1) 事業の目標 国庫補助金の活用により、対象系統を維持確保するとともに、ノンステップバスの導入を継続的に進めることにより、対象系統の運行の過半数をバリアフリー車両として、より誰もが利用しやすい環境を目指す。
(2) 事業の効果 車両の更新により、バリアフリー化が進み、移動の快適性や安全性が高まるだけでなく、地域に対しても人や環境にやさしい乗物をアピールし、路線バスのイメージアップにつながる。
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額

表 6 及び表 7 のとおり	
14. 協議会の開催状況と主な議論	
・ 令和 4 年 6 月 13 日 沿線市町に意見照会し、生産性向上の取組について合意。 ・ 令和 4 年 6 月 28 日 令和 4 年度第 1 回宮城県地域路線バス等対策連絡協議会を開催し、計画全体について合意（書面開催）。	
15. 利用者等の意見の反映状況	
宮城県地域路線バス等対策連絡協議会の構成員として、利用者代表の参画を得ている。	
16. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	宮城県
関係市区町村	市長会（町村会）会長から推薦のあった市（町村）の首長が指名する者 （石巻市、気仙沼市、白石市、登米市、栗原市、大崎市、大河原町、亘理町）
交通事業者・交通施設管理者等	仙台市交通局、宮城交通株式会社
地方運輸局	宮城運輸支局
その他協議会が必要と認める者	（公社）宮城県バス協会、宮城県交通運輸産業労働組合協議会、（社福）宮城県社会福祉協議会、宮城県高等学校長協会、（公財）宮城県老人クラブ連合会

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 8 番 1 号

（所 属）宮城県企画部地域交通政策課

（氏 名）左古 瑞樹

（電 話）022-211-2437

（e-mail）kotu-kt@pref.miyagi.lg.jp

系統名	目的	必要性	定量的な目標	効果	目標達成のために行う事業	その実施主体
白石遠刈田	蔵王高校をはじめとした通学利用と遠刈田温泉、蔵王山への観光客輸送	鉄道や他交通の存在しないバスのみの地域である	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①高校新入生に対するバス通学の周知	㈱ミヤコーバス、蔵王高校、白石高校、白石工業高校、白石市、蔵王町
					②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、白石市、蔵王町
					③観光乗車券の検討	㈱ミヤコーバス、蔵王町（観光物産協会）
					④運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、白石市、蔵王町
川崎	村田高校や柴田農林高校川崎校などの通学輸送及びみやぎ県南中核病院への通院	鉄道の無い村田町・川崎町をJR大河原駅へ結ぶ唯一の交通機関である	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①高校新入生に対するバス通学の周知	㈱ミヤコーバス、村田高校、大河原商業高校、柴田農林高校、大河原町、村田町、川崎町
					②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、大河原町、村田町、川崎町
					③利用状況の分析	㈱ミヤコーバス、大河原町、村田町、川崎町
					④運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、大河原町、村田町、川崎町
利府	塩竈市内、利府町内の各住宅地を縦貫する幹線系統	JR仙石線、東北線、利府線を横に繋げる	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①高校新入生に対するバス通学の周知	㈱ミヤコーバス、利府高校、利府町
					②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、塩竈市、利府町
					③利用状況の分析	㈱ミヤコーバス、塩竈市、利府町
					⑤運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、塩竈市、利府町
ゴルフ場	塩竈市内の北部地域の住宅地を縦貫する幹線系統	塩竈市内の北部地域から中心部への住民の足である	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、塩竈市、利府町
					②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	㈱ミヤコーバス、塩竈市、利府町
					③運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、塩竈市
吉岡	地下鉄泉中央駅から黒川郡を南北に縦貫する幹線系統	仙台への通勤通学の足である	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①高校新入生に対するバス通学の周知	㈱ミヤコーバス、黒川高校、富谷市、大和町
					②運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、富谷市、大和町
色麻	大崎市、加美町、色麻町相互間の通学と大崎市民病院へのアクセス	この地域を結ぶ唯一の交通機関である	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①高校新入生に対するバス通学の周知	㈱ミヤコーバス、古川黎明中学・高校、古川高校、中新田高校、大崎市、加美町、色麻町
					②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	㈱ミヤコーバス、大崎市、加美町、色麻町
					③運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、大崎市、加美町
石巻免許センター	大街道地区及び蛇田新市街地と商業施設・石巻駅を結ぶ幹線系統	大街道地区及び蛇田新市街地から石巻市内中心部へのアクセス向上	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整検討	㈱ミヤコーバス、石巻専修大学、石巻市内の沿線高校、石巻市、東松島市
河南	旧河南町と石巻市を結ぶ幹線系統	河南地区から石巻市内中心部へのアクセス向上			②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	㈱ミヤコーバス、石巻専修大学、石巻市内の沿線高校、石巻市、東松島市
石巻専修大	石巻専修大学の通学輸送と旧市町間を結ぶ幹線輸送	石巻駅と旧河北町中心部や石巻専修大学を直接結ぶ唯一の交通機関である			③運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、石巻市、東松島市
河北	河北地区と商業施設・石巻あゆみ野駅を結ぶ幹線系統	河北地区の交通拠点である「上品の郷」における住民バスとの接続確保				
鮎川	牡鹿半島からの通学輸送と牡鹿半島への観光利用	石巻市内と牡鹿半島を結ぶ唯一の交通機関である				
蛇田	石巻市中心部と西部住宅地（一部東松島市）を結ぶ路線	沿線沿いの高校の通学利用と、復興団地の住民利用、及び大型商業施設への買い物利用				
女川	女川町と石巻市を結ぶ幹線系統	離島航路や町民バスとの接続など、鉄道にはない機能を有する	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、石巻市、女川町
					②自治体との路線あり方協議	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、石巻市、女川町
					③運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、石巻市、女川町
御崎	唐桑半島から気仙沼市内を貫通し、通学や通院など多様な需要に応える幹線	唐桑半島から気仙沼市内を結ぶ唯一の路線である	輸送人員、運送収入を前年比で1%増加	収支率の改善	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、気仙沼市
					②自治体との路線あり方協議	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、気仙沼市
					③運転免許自主返納者に対する割引の検討	㈱ミヤコーバス、気仙沼市

別紙1

地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性等(車両)

申請番号	使用路線名	目的	必要性	定量的な目標	効果
27	ゴルフ場	車両のバリアフリー化	沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新	当該路線の過半数をバリアフリー車両で運行	高齢者・車椅子等利用者の利便性向上
28	吉岡	車両のバリアフリー化	沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新	当該路線の過半数をバリアフリー車両で運行	高齢者・車椅子等利用者の利便性向上
29	河南	車両のバリアフリー化	沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新	当該路線の過半数をバリアフリー車両で運行	高齢者・車椅子等利用者の利便性向上
30	女川	車両のバリアフリー化	沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新	当該路線の過半数をバリアフリー車両で運行	高齢者・車椅子等利用者の利便性向上
31	蛇田	車両のバリアフリー化	沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新	当該路線の過半数をバリアフリー車両で運行	高齢者・車椅子等利用者の利便性向上
32	御崎	車両のバリアフリー化	沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新	当該路線の過半数をバリアフリー車両で運行	高齢者・車椅子等利用者の利便性向上

別紙2 令和5年度地域間幹線系統における生産性向上の取組

1 白石遠刈田線（白石蔵王駅～永野～アクティブリゾーツ宮城蔵王）

a. 取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、蔵王高校、白石高校、白石市、蔵王町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e. 実施時期	令和5年3月～

a. 取組内容	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、白石市、蔵王町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	③観光乗車券の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、蔵王町（観光物産協会）
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 （前年度から引き続き） 企画内容の検討、スポンサー依頼、実施
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	④運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、白石市、蔵王町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 割引内容、実施可否の検討
e. 実施時期	令和5年度中

f. 系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、当県県南地域の交通の玄関口である、JR東北新幹線の白石蔵王駅と、当県を代表する観光地である宮城蔵王の麓に位置し、主要な温泉宿泊地の一つである遠刈田温泉を結ぶ、2市町にまたがる約24キロの路線である。沿線には主要な県立高校が2つあり、JR東北本線・白石駅を利用する遠距離通学者も含め、高校生の足として定着している（1日当たり通学定期利用者数：約50人）。また、観光路線としての側面も非常に強く、東北新幹線を利用した県外の旅行者が、温泉入浴や宿泊、自然散策等を目的として幅広く利用すること。また、鉄道や他交通が存在しないバスのみ地域となっていることから、ある程度の便数を確保する必要がある、引き続き幹線系統として運行するものである。
-----------------------------------	---



上記の取組により、令和5年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
41.4%（令和3年度実績） → 改善後：42.4%

%

2 川崎線〔川崎系統〕（大河原駅前～村田営業所～川崎）

3 川崎線〔村田系統〕（大河原駅前～沼辺～村田営業所）

a. 取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、村田高校、大河原商業高校、柴田農林高校、大河原町、村田町、川崎町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e. 実施時期	令和5年3月～

a. 取組内容	②J R、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、J R東日本㈱、大河原町、村田町、川崎町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	③利用状況の分析
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、大河原町、村田町、川崎町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 利用状況を踏まえ実施するのが効果的な施策等を検討
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	④運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、大河原町、村田町、川崎町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 割引内容、実施可否の検討
e. 実施時期	令和5年度中

f. 系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、交通の結節点である、J R東北本線大河原駅を起終点とし、幹線道路である県道14号線沿いに、南北25キロにわたり3町にまたがる路線である。沿線には県立高校が3つあり、主としてJ R東北本線を利用する遠距離通学の高校生の足として定着している（1日当たり通学定期利用者数：約80人）。さらに、沿線には、この地域の中核的な三次医療機関である、みやぎ県南中核病院があり、県内でも高齢化率の高い県南地域においては、通院の足としても重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。
-----------------------------------	--

上記の取組により、令和5年度事業年度の実績収支率をそれぞれ前年度より1ポイント改善させる

川崎線〔川崎系統〕 34.7%（令和3年度実績） → 改善後：35.7%
川崎線〔村田系統〕 74.5%（令和3年度実績） → 改善後：75.5%

4 利府線（塩釜営業所～利府役場前～利府高校前～しらかし台）

a. 取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, 利府高校, 利府町, 塩竈市
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年3月 新入生説明会に合わせ, 路線図, 時刻表等の情報を配布
e. 実施時期	令和5年3月～

a. 取組内容	②J R, 住民バス等とのダイヤ調整, 広報
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, J R東日本㈱, 塩竈市, 利府町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 ダイヤ改正, 自治体広報への記事掲載, 駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	③利用状況の分析
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, 塩竈市, 利府町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 利用状況を踏まえ実施するのが効果的な施策等を検討
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	④運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, 塩竈市
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 割引内容, 実施可否の検討
e. 実施時期	令和5年度中

f. 系統の見直しを実施せず, 引き続き, 幹線系統として運行する理由	当系統は, 利府町と塩竈市を結ぶ唯一の路線であり, また, JR 仙石線, 東北本線, 利府線を繋げる重要な役割を果たしている。 利府町内には, 利府高校と工業団地が存在し, 路線バスは通勤通学に欠かせないものとなっており, 路線バス以外の代替交通手段は存在していない。 このような現状を踏まえ, 引き続き幹線系統として運行する必要がある。
-------------------------------------	--



上記の取組により, 令和5年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
58.9% (令和3年度実績) → 改善後: 59.9%

5 ゴルフ場線（マリンゲート塩釜～ゴルフ場～千賀の台西）

a. 取組内容	① J R, 住民バス等とのダイヤ調整, 広報
b. 実施主体	(株)ミヤコーバス, J R東日本(株), 塩竈市, 利府町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間 1%増加させ, 年間 1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和 5 年度中 ダイヤ改正, 自治体広報への記事掲載, 駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e. 実施時期	令和 5 年度中

a. 取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b. 実施主体	(株)ミヤコーバス, 塩竈市, 利府町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間 1 %増加させ, 年間 1 %の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和 5 年度中（随時） 塩釜体育館等でのイベントに合わせ, 情報誌等で当該系統の利用を周知
e. 実施時期	令和 5 年度中

a. 取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	(株)ミヤコーバス, 塩竈市
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間 1 %増加させ, 年間 1 %の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和 5 年度中 割引内容, 実施可否の検討
e. 実施時期	令和 5 年度中

f. 系統の見直しを実施せず, 引き続き, 幹線系統として運行する理由	当系統は, 塩竈市内の北部地域の住宅地を縦貫する幹線系統であり, 北部地域から市内中心部への住民の足として重要な役割を果たしている。 このような現状を踏まえ, 引き続き幹線系統として運行する必要がある。
-------------------------------------	--



上記の取組により, 令和 5 年度事業年度の実績収支率を前年度より 1 ポイント改善させる
57.4% (令和 3 年度実績) → 改善後 : 58.4%

6 吉岡線（泉中央駅～あけの平～道下）

a. 取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス，黒川高校，富谷市，大和町
c. 定量的な効果目標	上記取組により，輸送人員を年間１％増加させ，年間１％の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和５年３月 新入生説明会に合わせ，路線図，時刻表等の情報を配布
e. 実施時期	令和５年３月～

a. 取組内容	②運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス，富谷市，大和町
c. 定量的な効果目標	上記取組により，輸送人員を年間１％増加させ，年間１％の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和５年度中 割引内容，実施可否の検討
e. 実施時期	令和５年度中

f. 系統の見直しを実施せず，引き続き，幹線系統として運行する理由	当系統は，仙台市地下鉄泉中央駅から，黒川郡を南北に縦貫する幹線系統であり，近年住民が増加している黒川地域から仙台中心部への通勤・通学の足として重要な役割を果たしている。 このような現状を踏まえ，引き続き幹線系統として運行する必要がある。
-----------------------------------	---



上記の取組により，令和５年度事業年度の実績収支率を前年度より１ポイント改善させる
69.8％（令和３年度実績） → 改善後：70.8％

7 色麻線（古川駅前～塚の目／大崎市民病院～色麻町役場前）

a. 取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、古川黎明中学・高校、古川高校、中新田高校、大崎市、加美町、色麻町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間１％増加させ、年間１％の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和５年３月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e. 実施時期	令和５年３月～

a. 取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、大崎市、加美町、色麻町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間１％増加させ、年間１％の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和５年度中（随時） イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e. 実施時期	令和５年度中（随時）

a. 取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、大崎市、加美町
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間１％増加させ、年間１％の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・平成３１年４月１日～ 実施
e. 実施時期	令和元年度から

f. 系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、当県県北地域の交通の玄関口であり、結節点である、ＪＲ東北新幹線、陸羽東線古川駅を主な起終点とし、幹線道路である国道３４７号線沿いに、東西１５キロにわたり３市町にまたがる路線である。沿線には複数の高校や県北地域唯一の中高一貫校があり、主としてＪＲ陸羽東線を利用する遠距離通学の中高生の足として定着している（１日当たり通学定期利用者数：約１２０人）。さらに、沿線には、県北地域の中核的な三次医療機関である、大崎市民病院があり、県北地域一円からの通院の足としても重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。
-----------------------------------	---



上記の取組により、令和５年度事業年度の実績収支率を前年度より１ポイント改善させる
 55.9%（令和３年度実績） → 改善後：56.9%

- 8 石巻免許センター線（石巻駅前～石巻あゆみ野駅～イオンモール石巻～日赤病院）
 9 河南線（石巻駅前～イオンモール石巻～河南総合支所）
 10 石巻専修大学線（石巻駅前～石巻専修大学～飯野川）
 11 河北線（石巻あゆみ野駅～イオンモール石巻～日赤病院～飯野川）
 12 鮎川線（石巻駅前／イオンスーパーセンター石巻東店～サンファンパーク～鮎川港）
 14 蛇田線（いしのまき元気いちば～蛇田～石巻あゆみ野駅南口）

a. 取組内容	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、石巻専修大学、石巻市内の沿線高校、石巻市、東松島市
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e. 実施時期	令和2年12月～

a. 取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、石巻専修大学、石巻市内の沿線高校、石巻市、東松島市
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中（随時） イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス、石巻市、東松島市
c. 定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 割引内容、実施可否の検討
e. 実施時期	令和5年度中

f. 系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	これらは、石巻市の公共交通ネットワークにおいて、平成30年10月に再編が実施された系統であり、市が目指す復興まちづくりの形成にとって重要な系統である。 面積の広い石巻市の各地区や隣接市町の復興団地から、市内中心部へのアクセス向上が図られているほか、当該エリアの主要駅である石巻駅、市街地、大型商業施設や道の駅、そして教育機関を結ぶ、沿線住民の生活に無くてはならない重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。
-----------------------------------	--



上記の取組により、令和5年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる

石巻免許センター線	31.5%（令和3年度実績）	→ 改善後：32.5%
河南線	22.8%（令和3年度実績）	→ 改善後：23.8%
石巻専修大学線	28.8%（令和3年度実績）	→ 改善後：29.8%
河北線	21.5%（令和3年度実績）	→ 改善後：22.5%
鮎川線	20.7%（令和3年度実績）	→ 改善後：21.7%
蛇田線	26.2%（令和3年度実績）	→ 改善後：27.2%

13 女川線（石巻駅前～女川運動公園前）

a. 取組内容	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, JR 東日本㈱, 石巻市, 女川町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中(随時) イベントに合わせ, 情報誌等で当該系統の利用を周知
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	②自治体との路線あり方協議
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, JR 東日本㈱, 石巻市, 女川町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中(随時) 利用状況を踏まえ, 今後の路線のあり方等を検討
e. 実施時期	令和5年度中

a. 取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, 石巻市, 女川町
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間1%増加させ, 年間1%の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和5年度中 割引内容, 実施可否の検討
e. 実施時期	令和5年度中

f. 系統の見直しを実施せず, 引き続き, 幹線系統として運行する理由	当系統は, 女川町と石巻市を結ぶ唯一の路線である。 女川町内には, 日用品の買い物ができる店や病院が少ないため, 町内と石巻市を結ぶ路線バスは住民の日常生活の中で欠かせないものとなっており, 沿線の大型商業施設への買い物利用として多く活用されている。 また, 沿線には復興団地が位置し, 住民の欠かせない足となっている。 このような現状を踏まえ, 引き続き幹線系統として運行する必要がある。
-------------------------------------	---



上記の取組により, 令和5年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
34.2% (令和3年度実績) → 改善後: 35.2%

15 御崎線（御崎～気仙沼市民病院）

a. 取組内容	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, JR 東日本㈱, 気仙沼市
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間 1 %増加させ, 年間 1 %の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和 5 年度中（随時） イベントに合わせ, 情報誌等で当該系統の利用を周知
e. 実施時期	令和 5 年度中

a. 取組内容	②自治体との路線あり方協議
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, JR 東日本㈱, 気仙沼市
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間 1 %増加させ, 年間 1 %の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和 5 年度中（随時） 利用状況を踏まえ, 今後の路線のあり方等を検討
e. 実施時期	令和 5 年度中

a. 取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b. 実施主体	㈱ミヤコーバス, 気仙沼市
c. 定量的な効果目標	上記取組により, 輸送人員を年間 1 %増加させ, 年間 1 %の収入増を図る。
d. 実施に向けたスケジュール	・令和 5 年度中 割引内容, 実施可否の検討
e. 実施時期	令和 5 年度中

f. 系統の見直しを実施せず, 引き続き, 幹線系統として運行する理由	当系統は, 唐桑半島から気仙沼市内を結ぶ唯一の路線である。 唐桑半島から気仙沼市内を貫通し, 通学や通院など多様な需要に応える幹線となっている現状を踏まえ, 引き続き幹線系統として運行する必要がある。
-------------------------------------	---



上記の取組により, 令和 5 年度事業年度の実績収支率を前年度より 1 ポイント改善させる
34.2%（令和 3 年度実績） → 改善後 : 35.2%

※各系統とも, 客貨混載については, 運行事業者, 運送事業者の間でやり取りし, 需要を見極めた上で, 検討を続ける。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

令和5年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に要する 国庫補助額(千円)	特 例 措 置
宮城県	株式会社ミヤコーバス	(1)白石遠刈田	5,734.0	
	株式会社ミヤコーバス	(2)川崎	1,395.5	
	株式会社ミヤコーバス	(3)川崎	813.5	
	株式会社ミヤコーバス	(4)利府	4,915.0	
	株式会社ミヤコーバス	(5)ゴルフ場	785.5	
	株式会社ミヤコーバス	(6)吉岡	6,824.5	
	株式会社ミヤコーバス	(7)色麻	5,844.5	
	株式会社ミヤコーバス	(8)石巻免許センター	4,485.5	
	株式会社ミヤコーバス	(9)河南	1,170.5	
	株式会社ミヤコーバス	(10)石巻専修大	1,754.5	
	株式会社ミヤコーバス	(11)河北	992.5	
	株式会社ミヤコーバス	(12)鮎川	3,856.5	
	株式会社ミヤコーバス	(13)女川	2,103.0	
	株式会社ミヤコーバス	(14)蛇田	2,498.5	
	株式会社ミヤコーバス	(15)御崎	3,912.0	
合 計			47,085.0	

(注)

1. 本表に記載する運行予定系統を示した地図(運行予定系統が熊本地震被災市町村における応急仮設住宅の1キロメートル以内を経由することを図示したものを含む)を添付すること。

2. 「特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域間幹線系統に係る特例措置の適用を受ける場合には「1」を、平成29年8月2日改正附則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2 5. ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。

3. 補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは曜日の違いによる運行回数以外に変更がない場合については、その旨を記載することで足りるものとする。
(記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略」)

表4 別表1及び別表3の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

都道府県名	広域行政圏名	市町村名	指定の理由
宮城県	仙南広域行政圏	大河原町	国の出先機関、県の合同庁舎、複数の高等学校、総合病院、文化施設、大規模小売店等があり、行政・経済・文化の集積地であるとともに、交通結節点であることから、広域行政圏の中心市町村に準ずるものとして指定するもの。
	仙台広域行政圏	塩竈市	国及び県の出先機関、高等学校、総合病院、文化施設、大規模小売店等があり、行政・経済・文化の集積地であるとともに、交通結節点であることから、広域行政圏の中心市町村に準ずるものとして指定するもの。
	仙台広域行政圏	多賀城市	大学、高等学校、総合病院、文化施設、大規模小売店等があり、経済・文化の集積地であるとともに、交通結節点であることから、広域行政圏の中心市町村に準ずるものとして指定するもの。

【参考】

各路線の該当状況(要綱別表5または表4)

	要綱別表5 広域行政圏域の中心市町村の一覧表	路線名	表4 県協議会等が「広域行政圏域の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧	路線名
仙南広域行政圏	白石市 角田市	白石遠刈田線	大河原町	川崎線
仙台広域行政圏	仙台市	吉岡線	塩竈市、多賀城市	利府線、ゴルフ場線
大崎広域行政圏	古川市	色麻線		
栗原広域行政圏	築館町			
登米広域行政圏	迫町			
石巻広域行政圏	石巻市	石巻免許センター線、河南線、石巻専修大学線、河北線、鮎川線、蛇田線、女川線		
気仙沼・本吉広域行政圏	気仙沼市	御崎線		

平成13年3月31日現在の市町村名で記載している

表6 車両の取得計画の概要

都 道 府 県 (市 区 町 村)	補 助 対 象 事 業 者 名	補 助 対 象 車 両 数	車両減価償却費等に要する国庫補助額(千円)
宮 城 県 (令和5年度)	株式会社ミヤコーバス	24	22,576
宮 城 県 (令和6年度)	株式会社ミヤコーバス	25	38,640
宮 城 県 (令和7年度)	株式会社ミヤコーバス	26	34,496